

委託事業実施内容報告書
平成26年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名： 社会福祉法人青丘社

1. 事業名称 「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的カリキュラムを活用した「定住外国人」初期日本語識字事業
2. 事業の目的 1988 年から青丘社が運営してきた識字学級の実践に、文化庁の標準的カリキュラムを活用し、社会生活に必要な情報、生活課題を学ぶ新たな初期日本語識字事業を実施する。
3. 事業内容の概要 生活課題を取り入れた初期日本語識字カリキュラムを実施し、教室実践と並行して、研修を行う。定着率が低い初期学習者に生活課題に直結した完結型プログラムを実施する。
4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	2014年 5月27日(火) 18:00～20:00	2時間	ふれあい館	山田泉・大越貴子 多賀重久・原千代子	年間事業計画	生活課題講座「防災講座、病院講座」及び、親子日本語教室の実施、及び関係機関との協働事業への課題
2	8月21日(木) 18:00～20:00	2時間	ふれあい館	山田泉・大越貴子 多賀重久・原千代子 斉藤明・久米谷敬	上半期事業の振り返りと下半期事業の計画	教育文化会館と協働事業として行ったボランティア研修の振り返りと課題
	2月17日(火) 18:00～20:00	2時間	ふれあい館	山田泉・大越貴子 多賀重久・原千代子 斉藤明・大城進	2014年度事業の振り返り	教育文化会館や区役所と協働事業として行った親子日本語教室や防災フォーラムの振り返り、及び課題

5. 日本語教育の実施



5-1 通年の取組み

- (1) 講座名称 定住外国人のための識字日本語教室
- (2) 目的・目標 社会生活に必要な情報を完結型プログラム学習として言語通訳付きで実施。
- (3) 対象者 川崎区を中心とする「定住型」外国人市民
- (4) 開催時間数(回数) 2 時間 (全 40 回)
- (5) 使用した教材・リソース オリジナル作成教材 および レアリア(地図・バス路線図・レシート等)
- (6) 受講者の総数 16 人
出身・国籍別内訳

中国	4人	インドネシア	人
韓国	人	タイ	4人
ブラジル	人	ペルー	人
ベトナム	2人	フィリピン	6人
ネパール	人	日本	人

(7) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成26年5月 13日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	10人	中国(4人) フィリピン(4人) タイ(2人)	住所・氏名の読み書き	1 期学習者の受け入れとグループ編成を行う。受付時に住所・氏名の読み方・書き方を教える。	大越貴子 多賀重久 比嘉佳光	ローズマリー サルヴィオ 那桂花
2	平成26年5月 20日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	10人	中国(3人) フィリピン(5人) タイ(2人)	自己紹介 カレンダー	あいさつや自己紹介の仕方を教える。クラスのある曜日や日付などの日本語がわかるようにする。	大越貴子 多賀重久	ローズマリー サルヴィオ 那桂花
3	平成26年5月 27日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	9人	中国(3人) フィリピン(4人) タイ(2人)	数字と貨幣 買い物の予備学習	1万円までの数字と日本の貨幣がわかり、買い物に必要な金額がスムーズに支払えるように練習する。	大越貴子 多賀重久 比嘉佳光	ローズマリー サルヴィオ 那桂花

4	平成26年6月 3日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	10人	中国(3人) フィリピン(5人) タイ(2人)	防災学習①	防災意識の啓発アンケート(多言語版)をしながら、防災に関心を持たせ学習のキーワードを教える。	大越貴子 多賀重久 比嘉佳光	
5	平成26年6月 6日(金) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	12人	中国(3人) フィリピン(5人) タイ(2人) ベトナム2人	防災学習②	避難場所を知るための準備学習として、自分の家や勤務先・子どもの学校など地図での場所や読み方を確認をする。	大越貴子 多賀重久	
6	平成26年6月 10日(火) 10:00～13:00	3時間	川崎市ふれあい館	14人	中国(3人) フィリピン(6人) タイ(3人) ベトナム2人	防災学習③ 防災講座	川崎市総務課危機管理室「防災出前講座」+自分に家の避難場所を知るタスク 多言語通訳を入れ、防災基礎知識学習と外国人市民の不安の声を市・区の防災担当職員に届ける。	大越貴子 多賀重久 比嘉佳光	ローズマリー サルヴィオ 邢桂花
7	平成26年6月 17日(火) 10:00～13:00	3時間	川崎市ふれあい館	14人	中国(3人) フィリピン(6人) タイ(3人) ベトナム2人	防災学習④	救命救急カードの記入、講座で学んだ知識の復習	大越貴子 多賀重久	ローズマリー サルヴィオ 邢桂花
8	平成26年6月 20日(金) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	14人	中国(3人) フィリピン(6人) タイ(3人) ベトナム2人	防災学習⑤	防災テーマ学習を通じて学んだこと・感想を日本語および母語で綴る。	大越貴子 多賀重久 比嘉佳光	ローズマリー サルヴィオ 邢桂花
9	平成26年6月 24日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	14人	中国(3人) フィリピン(6人) タイ(3人) ベトナム2人	防災学習⑥	消防・救急や警察への通報の仕方を教え、練習する。	大越貴子 多賀重久 比嘉佳光	ローズマリー サルヴィオ 邢桂花
10	平成26年7月 1日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	12人	中国(3人) フィリピン(5人) タイ(2人) ベトナム2人	買い物①	近所の店のレシートを見て、表示されている数字や言葉の意味を教え合う。	大越貴子 多賀重久 比嘉佳光	ローズマリー サルヴィオ 邢桂花
11	平成26年7月 8日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	12人	中国(3人) フィリピン(5人) タイ(2人) ベトナム2人	買い物②	生活用品(食べ物のパッケージ・服のラベル・洗剤容器・スーパーチラシなど)を持ち寄って、その記号や言葉の意味について教え合う。	大越貴子 多賀重久	
12	平成26年7月 15日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	12人	中国(3人) フィリピン(5人) タイ(2人) ベトナム2人	目的地への移動 ①	川崎区のバス路線図・乗り方・料金について教え、一人で駅・病院・区役所などへ行けるように教える。	大越貴子 多賀重久 比嘉佳光	
13	平成26年7月 22日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	12人	中国(3人) フィリピン(5人) タイ(2人) ベトナム2人	まとめ	I 期に学習した内容の振り返りと発表	大越貴子 多賀重久	
14	平成26年9月 2日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	10人	中国(3人) フィリピン(5人) タイ(2人)	住所・氏名の読み書き【再】	Ⅱ期学習者の受け入れとグループ編成を行う。受付時に住所・氏名の読み方・書き方を教える。	大越貴子 多賀重久 比嘉佳光	
15	平成26年9月 9日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	10人	中国(3人) フィリピン(5人) タイ(2人)	自己紹介 カレンダー【再】	あいさつや自己紹介の仕方を教える。 クラスのある曜日や日付などの日本語がわかるようにする。	大越貴子 多賀重久	
16	平成26年9月 16日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	12人	中国(3人) フィリピン(5人) タイ(2人) ベトナム2人	数字と貨幣 買い物の予備学習【再】	1万円までの数字と日本の貨幣がわかり、買い物に必要な金額がスムーズに支払えるように練習する。	大越貴子 多賀重久	
17	平成26年9月 30日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	12人	中国(3人) フィリピン(5人) タイ(2人) ベトナム2人	買い物①【再】	近所の店のレシートを見て、表示されている数字や言葉の意味を教え合う。	大越貴子 多賀重久 比嘉佳光	
18	平成26年10月 7日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	14人	中国(3人) フィリピン(6人) タイ(3人) ベトナム2人	病院学習①	地域のかかりつけ医・大病院への紹介状など受診基礎知識 健康保険への加入・多言語問診票の紹介を行う。	大越貴子 多賀重久	ローズマリー サルヴィオ 邢桂花
19	平成26年10月 10日(金) 10:00～13:00	3時間	川崎市ふれあい館	14人	中国(3人) フィリピン(6人) タイ(3人) ベトナム2人	病院学習②	医療通訳の依頼・地域の夜間休日診療知識の案内日本で受診経験がある人に経験などを聞く。	大越貴子 多賀重久 比嘉佳光	ローズマリー サルヴィオ 邢桂花
20	平成26年10月 14日(火) 10:00～13:00	3時間	川崎市ふれあい館	14人	中国(3人) フィリピン(6人) タイ(3人) ベトナム2人	病院学習③ 病院講座	川崎市協同病院のソーシャルワーカー、看護師による外国人市民への地域医療・病院利用に関する情報講座。多言語通訳を入れ、外国人市民から病院関係者への質問や不安に思うことの声も届ける。	大越貴子 多賀重久 比嘉佳光	東久保オリビア・ 金恵珍 勝亦ゆき・畢迎春 佐々木利和
21	平成26年10月 21日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	14人	中国(3人) フィリピン(6人) タイ(3人) ベトナム2人	病院学習④	病院に受診するときの会話練習 問診票への記入練習	大越貴子 多賀重久	ローズマリー サルヴィオ 邢桂花
22	平成26年10月 24日(金) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	14人	中国(3人) フィリピン(6人) タイ(3人) ベトナム2人	病院学習⑤	病院テーマ学習を通じて学んだこと・感想を日本語および母語で綴る。	大越貴子 多賀重久	ローズマリー サルヴィオ 邢桂花

23	平成26年10月28日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	12人	中国(3人) フィリピン(5人) タイ(2人) ベトナム2人	買い物②【再】	生活用品(食べ物のパッケージ・服のラベル・洗剤容器・スーパーちらしなど)を持ち寄って、その記号や言葉の意味について教え合う。	大越貴子 多賀重久 比嘉佳光	
24	平成26年11月11日(火) 10:00～13:00	3時間	川崎市ふれあい館	12人	中国(3人) フィリピン(5人) タイ(2人) ベトナム2人	目的地への移動①【再】	川崎区のバス路線図・乗り方・料金について教え、一人で駅・病院・区役所などへ行けるように教える。	大越貴子 多賀重久 比嘉佳光	
25	平成26年11月18日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	12人	中国(3人) フィリピン(5人) タイ(2人) ベトナム2人	目的地への移動②	地図を見る練習。自宅から、学校や職場・スーパーなどへの行き方を地図で見て、場所の名前の読み方や地元情報を教え合う。	大越貴子 多賀重久	
26	平成26年11月25日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	12人	中国(3人) フィリピン(5人) タイ(2人) ベトナム2人	まとめ	Ⅱ期に学習した内容の振り返りと発表	大越貴子 多賀重久 比嘉佳光	ローズマリー サルヴィオ 邢桂花
27	平成26年12月2日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	12人	中国(3人) フィリピン(5人) タイ(2人) ベトナム2人	住所・氏名の読み書き【再】	Ⅲ期学習者の受け入れとグループ編成を行う。受付時に住所・氏名の読み方・書き方を教える。	大越貴子 多賀重久	ローズマリー サルヴィオ 邢桂花
28	平成26年12月13日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	12人	中国(3人) フィリピン(5人) タイ(2人) ベトナム2人	自己紹介カレンダー 【再】	あいさつや自己紹介の仕方を教える。クラスのある曜日や日付などの日本語がわかるようにする。	大越貴子 多賀重久 比嘉佳光	
29	平成26年12月16日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	12人	中国(3人) フィリピン(5人) タイ(2人) ベトナム2人	数字と貨幣 買い物の予備学習【再】	1万円までの数字と日本の貨幣がわかり、買い物で必要な金額がスムーズに支払えるように練習する。	大越貴子 多賀重久	
30	平成27年1月6日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	10人	中国(3人) フィリピン(5人) タイ(2人)	新年のあいさつ	年末年始の休みに撮った写真を見せ合って互いの近況報告。次回の書き初めのことばを考える準備。	大越貴子 多賀重久 比嘉佳光	
31	平成27年1月9日(金) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	12人	中国(3人) フィリピン(5人) タイ(2人) ベトナム2人	書き初め	一年の抱負や自分の想いを筆と墨で書いて作品を仕上げる。	大越貴子 多賀重久 比嘉佳光	
32	平成27年1月13日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	16人	中国(4人) フィリピン(6人) タイ(4人) ベトナム2人	在留資格学習①	在留カードの確認と講座のキーワードを確認。	大越貴子 多賀重久	ローズマリー サルヴィオ 邢桂花
33	平成27年1月20日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	16人	中国(4人) フィリピン(6人) タイ(4人) ベトナム2人	在留資格学習② 在留資格講座	新しい入管法の施行とそれにまつわる課題について話を聞く。また、個々の質疑応答の時間を設ける。	大越貴子 多賀重久 比嘉佳光	ローズマリー サルヴィオ 邢桂花
34	平成27年1月27日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	16人	中国(4人) フィリピン(6人) タイ(4人) ベトナム2人	在留資格学習③	一連の病院テーマ学習を通じて学んだこと・感想を日本語および母語で綴る。	大越貴子 多賀重久 比嘉佳光	ローズマリー サルヴィオ 邢桂花
35	平成27年2月3日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	12人	中国(3人) フィリピン(5人) タイ(2人) ベトナム2人	買い物①【再】	近所の店のレシートを見て、表示されている数字や言葉の意味を教え合う。	大越貴子 多賀重久	
協働事業	平成27年2月8日(日) 10:00～12:30	2.5時間	カトリック貝塚教会	約100人	ベトナム(28人) フィリピン(42人) ペルー1人	外国につながる市民と考える防災フォーラム	川崎区は全市の中で、最も防災への対応が必要とされる地域である。今回、公的機関と外国人が多く集うカトリック教会が、協働で、防災の話及び避難訓練を行った。	川崎区役所 区民会議 川崎市ふれあい館：共同主催	
36	平成27年2月10日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	12人	中国(3人) フィリピン(5人) タイ(2人) ベトナム2人	買い物②【再】	生活用品(食べ物のパッケージ・服のラベル・洗剤容器・スーパーちらしなど)を持ち寄って、その記号や言葉の意味について教え合う。	大越貴子 多賀重久 比嘉佳光	
37	平成27年2月17日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	16人	中国(4人) フィリピン(6人) タイ(4人) ベトナム2人	目的地への移動①【再】	川崎区のバス路線図・乗り方・料金について教え、一人で駅・病院・区役所などへ行けるように教える。	大越貴子 多賀重久	
38	平成27年2月24日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	16人	中国(4人) フィリピン(6人) タイ(4人) ベトナム2人	目的地への移動②【再】	地図を見る練習。自宅から、学校や職場などへの行き方を地図を見ながら説明する練習。	大越貴子 多賀重久 比嘉佳光	
39	平成27年3月3日(火) 10:00～12:00	2時間	川崎市ふれあい館	12人	中国(3人) フィリピン(5人) タイ(2人) ベトナム2人	コミュニケーション	雑祭りについての説明 家族や会社の友人などの写真を見せて、説明し合う練習。	大越貴子 多賀重久	ローズマリー サルヴィオ 邢桂花

40	平成27年3月 10日(火) 10:00～13:00	3時間	川崎市ふれあい館	12人	中国(3人) フィリピン(5人) タイ(2人) ベトナム2人	まとめ	Ⅲ期に学習した内容の振り返りと発表	大越貴子 多賀重久 比嘉佳光	ローズマリー サルヴィオ 邢桂花
----	----------------------------------	-----	----------	-----	---	-----	-------------------	----------------------	------------------------

(8) 受講者の募集方法

ふれあい館だより(3000部)、市政だより区版、及び新聞折り込みのタウンニュース等(日本語版)。防災講座等生活課題講座の多言語版ちらしについては、外国人市民コミュニティの貝塚カトリック教会等を中心に、コミュニティリーダーに各方面で口コミで配布してもらった。

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)



日本語教室風景



防災講座風景①



防災講座風景②



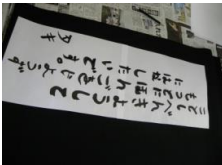
防災講座風景③



かきぞめ①



かきぞめ②



かきぞめ③



防災訓練①



防災訓練②



防災訓練③

①6月10日(火)区役所と連携して地震当初72時間の命を守る「防災講座」を多言語通訳付きで実施。

②1月20日(火)外国人市民の生存権に関わる「在留資格」について多言語通訳付きで学習。

(10) 目標の達成状況・成果 生活課題に即した完結型プログラムは有効だった。毎年開催すべき。

(11) 改善点について 多言語通訳全員を確保することが中々、大変。川崎区内の外国人同士の「共助」のネットワーク化が課題。

5-2 小学校就学前時期の取組み

(1) 講座名称 親子識字日本語教室

(2) 目的・目標 就学前及び、小学生期の親子がいろいろな生活課題について学ぶ。

(3) 対象者 外国につながる子どもと保護者、10組。

(4) 開催時間数(回数) 2 時間 (全 4 回)

(5) 使用した教材・リソース オリジナル作成教材 および DVD『ようこそ！さくら小学校へ』

(6) 受講者の総数 9 人

出身・国籍別内訳

中国	2人	インドネシア	人
韓国	人	タイ	人
ブラジル	1人	ペルー	3人
ベトナム	人	フィリピン	3人
ネパール	人	日本	人

(7) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成27年2月 21日(土) 10:00～12:00	2時間	川崎市教育文化会館	7	フィリピン(3) 中国(2) ペルー(1) ブラジル(1)	あいさつ・自己紹介 住所・氏名の書き	親本人の住所・記名および子供の記名練習 小学校関係者とのあいさつ 親としての自己紹介練習	大越貴子 多賀重久 比嘉佳光	
2	平成26年2月 28日(土) 10:00～12:00	2時間	川崎市教育文化会館	6	ペルー(3) 中国(2) フィリピン(1)	小学校ってどんなところ？	学校制度、小学校の1日、小学校の1年入学式および入学当初親が準備・注意すること(通訳入りの講義)	大越貴子 多賀重久 比嘉佳光	
3	平成26年3月 7日(土) 10:00～12:00	2時間	川崎市教育文化会館	5	フィリピン(2) 中国(1) ペルー(1) ブラジル(1)	小学校のことをもっと知ろう	時間割・科目名・学校の施設名、学校への連絡(欠席・早退・遅刻)練習	大越貴子 多賀重久 比嘉佳光	
4	平成26年3月 14日(土) 10:00～12:00	2時間	川崎市教育文化会館	7	フィリピン(3) ペルー(2) 中国(2)	遠足のお弁当作り	日本式のお弁当のおかず作り、作るときの注意	大越貴子 多賀重久 比嘉佳光	



プレスクール①



プレスクール②



プレスクール③

(8) 受講者の募集方法

川崎市教育委員会が共催になり、10月の就学時健診の時から、川崎市小学校長会を通じて、多言語ちらしを配布。相談対応について、区役所教育担当と連携して、すすめた。

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

2月21日(土)

親子日本語教室に申込み登録した7家族中6家族が参加。親が勉強する5階の会場と、児童室(3階)が離れており、親子はまず児童室へ行って、子供を預けてから、親だけが5階に上がり勉強する。ご夫婦で出席の家族や、上の子がすでに小学校の4年生の子の親もあり、日本語力や小学校に関する基礎知識に差がかなりあるものの、それぞれに真剣な面持ちで自己紹介練習や子供の持ち物への記名練習などに取り組んだ。

小学校から受け取った入学書類を持参して質問する親や、我が子がいじめにあったらどうしたらいいかなど、それぞれが不安な点について質問が出て、それらに対応した。

2月28日(土)

川崎市ふれあい館の職員であり、地元小学校に2名の子どもを通わせている現役先輩ママでもある講師から新1年生を抱えた親が入学式までにする準備や、入学後、親が気を付けてあげるべきこと、担任の先生へのあいさつなど細かく、具体的な説明が行われた。多言語通訳を入れたため、出席者からも次々と質問が出て、活発なやりとりが見られた。

第1回目は、児童室は就学する子どもと土曜日で小学校がない年上の兄弟や、年下の乳幼児も預かることになり、保育士さんたちが苦労したので、今回から就学する子どもたちは親と同じ教室の半分を区切って使い、就学前の団体行動の躰けや数字・歌・文字などの練習を行うことにした。やる前には親と同じ部屋で子どもたちが集めるかという懸念があったが、案外、両方ともスムーズにこなすことがわかった。

(10) 目標の達成状況・成果 行政機関と連携することにより、川崎区内全域から参加。

(11) 改善点について 場所も教育文化会館で実施したが、どこに事務局体制をおくかが課題。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

6-1 通年の取組み

(1) 講座名称 「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラムを活用した識字・日本語ボランティア研修

(2) 目的・目標 「標準的なカリキュラム案に基づいた入門・初級者向け生活課題教材を使用した地域日本語教室」のボランティア養成・研修

(3) 対象者 地域日本語教室の日本語ボランティア

(4) 開催時間数(回数) 2 時間 (全 12 回)

(5) 使用した教材・リソース

(6) 受講者の総数 18人

出身・国籍別内訳

中国	人	インドネシア	人
韓国	人	タイ	人
ブラジル	人	ペルー	人
ベトナム	人	フィリピン	人
ネパール	人	日本	18人

(7) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成26年4月1日(火) 13:00～15:00	2時間	川崎市ふれあい館	10人	日本	日本語識字ボランティアとはどのようなものか	文化庁「生活者としての外国人」に対する日本語教育について知る／川崎市の識字学習指針を知る	大越貴子	
2	平成26年4月22日(火) 13:00～15:00	2時間	川崎市ふれあい館	10人	日本	識字日本語学習の話題・教材紹介	標準的なカリキュラムを活用した識字・日本語活動について既成教材の紹介と検討	大越貴子	
3	平成26年5月13日(火) 13:00～15:00	2時間	川崎市ふれあい館	10人	日本	「生活者としての外国人」のための識字日本語教材研究(1)	生活課題教材の開発、および使い方に関する質疑応答	大越貴子	
4	平成26年6月3日(火) 13:00～15:00	2時間	川崎市ふれあい館	10人	日本	防災講座準備	防災講座前のボランティアの準備学習会	大越貴子	

5	平成26年7月1日(火) 13:00~15:00	2時間	川崎市ふれあい館	10人	日本	防災講座振り返り	一連のテーマ学習についての振り返りと、次回に向けて、区や地域コミュニティと連携した取り組みへの話し合い	大越貴子	
6	平成26年7月25日(金) 13:00~15:00	2時間	川崎市ふれあい館	18人	日本	新規ボランティア受入れ	Ⅱ期以降、新規に日本語識字ボランティアを始める人へのガイダンス	大越貴子	
7	平成26年9月2日(火) 13:00~15:00	2時間	川崎市ふれあい館	18人	日本	「生活者としての外国人」のための識字日本語教材研究(2)	生活課題教材および各ボランティアが使用したレリアや教材の検討	大越貴子	
8	平成26年10月7日(火) 13:00~15:00	2時間	川崎市ふれあい館	18人	日本	病院講座準備	病院講座前のボランティアの準備学習会	大越貴子	
9	平成26年11月4日(火) 13:00~15:00	2時間	川崎市ふれあい館	18人	日本	病院講座振り返り	一連のテーマ学習についての振り返りと、次年度への課題検討	大越貴子	
10	平成26年12月2日(火) 13:00~15:00	2時間	川崎市ふれあい館	18人	日本	「生活者としての外国人」のための識字日本語教材研究(3)	生活課題教材および各ボランティアが工夫したレリアや教材の検討	大越貴子	
11	平成26年1月13日(火) 13:00~15:00	2時間	川崎市ふれあい館	18人	日本	在留資格講座準備	在留資格講座前のボランティアの準備学習会	大越貴子	
12	平成26年2月3日(火) 13:00~15:00	2時間	川崎市ふれあい館	18人	日本	今年度の振り返りと次年度への課題	本年度「生活課題教材を使用した地域日本語教室」の振り返りと課題検討 新たな作成教材と従来の識字学級教材との比較・融合など次年度への取組みについて	大越貴子	

(8) 受講者の募集方法

※川崎市政だより区版、ふれあい館だより(3000部)、後半のボランティアについては、教育文化会館との協働事業で行った研修からの参加者。

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

4月1日(火)

本事業の理念・知識担当である山田泉が講師となり、従来の川崎市の識字学級の理念を活かしつつ、新しく始める「生活者としての外国人」の標準的なカリキュラム案の生まれるまでの経過や、使い方などの講義を行った。識字ボランティアからは具体的な活動のやり方や従来の識字学級との兼ね合いなど活発な質問が出た。

7月1日(火)

一連のテーマ学習「防災講座」を終えての振り返りの会。地元、川崎区南部は海からの津波の恐れや、工場地帯の爆発火災など、大地震が起きると被害が大きい恐れが高いため、学習者もボランティアも防災への関心は高い。学習希望者の入れ替わりも激しいので、次年度以降も是非続けたいし、外国人市民が多く通うカトリック教会や、教育文化会館での実施も行うべきとの声が多かった。

今回、市役所の人々の講義は通訳があっても少し長くて入門・初級者には集中が途切れがちであった。後半のタスクは有効だったが、最後に各言語グループ代表に全体に向けて感想を述べてもらったのは、小グループで話す練習を始めたばかりの入門・初級者にとっては、精神的に負担という声も出た。日頃から、他グループの人とも交流し、発言する機会を意識的に設定する必要がある。

(10) 目標の達成状況・成果 生活課題に直結した完結型プログラムは始めて試みで有効だった。

(11) 改善点について 完結型プログラムの前後事前学習の内容を初級学習者向けには検討が必要

6-2 識字日本語ボランティア入門・ブラッシュアップ研修

- (1) 講座名称 識字・日本語ボランティア研修「このまちでとにもくらししていくために・・・」
(2) 目的・目標 外国人市民と共に学ぶ識字学級を目指したボランティア養成講座
(3) 対象者 市内在住・在勤の市民20名
(4) 開催時間数(回数) 2 時間 (全 12 回)
(5) 使用した教材・リソース 外国人市民の生活視点を大切にし、ワークショップ型の研修
(6) 受講者の総数 20人

出身・国籍別内訳

中国	人	インドネシア	人
韓国	人	タイ	人
ブラジル	人	ペルー	人
ベトナム	人	フィリピン	人
ネパール	人	日本	20人

(7) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成26年6月21日(土) 10:00~12:00	2時間	川崎市教育文化会館	20人	日本	識字の理念、日本語識字ボランティアの概要を知る	・川崎市の識字学習指針を知る ・文化庁「生活者としての外国人」に対する日本語教育について知る ・この研修の目的やねらいを理解する	山田泉	原千代子
2	平成26年6月28日(土) 10:00~12:00	2時間	川崎市教育文化会館	20人	日本	外国人市民の立場を疑似体験し、「生活者としての外国人」の視点・気持ちに沿った日本語支援とは何かを学び考える	外国人市民とともに実際に街歩きをして、川崎の街の暮らしやすさ、住みにくさなどを体感する	山田泉	原千代子
3	平成26年7月5日(土) 10:00~12:00	2時間	川崎市教育文化会館	20人	日本		まち歩きから得られた生活情報を学習教材として活かすための手法を学ぶ	山田泉	原千代子
4	平成26年7月12日(土) 10:00~12:00	2時間	川崎市教育文化会館	20人	日本		母語ではない言語を学ぶことの大変さ、識字学習の場における外国人市民の気持ちを知る	大越貴子	原千代子
5	平成26年7月19日(土) 10:00~12:00	2時間	川崎市教育文化会館	20人	日本		・識字事業の現場で日本語識字ボランティアが期待されることを学ぶ ・参加者それぞれの研修での学びを振り返り、分かち合う	大越貴子	原千代子
6	平成26年8月23日(土) 10:00~12:00	2時間	川崎市教育文化会館	20人	日本	共同学習とcan-do-statementの視点から識字を考える	川崎市「識字学習の指針」の「共同学習」および文化庁「生活者としての外国人」に対する標準的カリキュラム案」が採るcan-do-statementの視点から識字日本語活動について考える。	山田泉	原千代子
7	平成26年8月30日(土) 10:00~12:00	2時間	川崎市教育文化会館	20人	日本	地域日本語教育のバイオニアの実践「行動達成目標」について学ぶ	中国帰国者定着促進センターの行動達成目標はまさにCan-co-statementであるとの視点から「生活者としての外国人」に対する日本語教育の具体的活動例を知り、普段の活動を振り返る。	大越貴子	原千代子
8	平成26年9月13日(土) 10:00~12:00	2時間	川崎市教育文化会館	20人	日本	・研修の振り返り ・識字日本語活動への今後の取組みを考える	「わかる」から「できる」識字学習活動について、「生活者としての外国人」のための日本各地での取り組みを知り、普段の活動につなげる。	大越貴子	原千代子

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

- ①6月28日(土)外国人市民と街歩きをし、生活者の視点からどのような識字学習が必要かを学ぶ。
②8月23日(土)川崎市の識字の理念に加え標準的カリキュラムをどのように活用していくかを学んだ。
(10) 目標の達成状況・成果 識字学習及び標準カリキュラムの理念的な理解と共有は図られた。
(11) 改善点について 週1回の教室で、初期学習者に向けて、どのように行動達成目標の学習をすすめられるかは、実践的には多くの課題がある。今のところ、多言語通訳が必ず必要とされる。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

- (1) 教材名称 ①「川崎市ふれあい館」生活課題教材を使用した地域日本語教室向け教材
教材名称 ② 親子識字日本語教室資料
(2) 対象: ① 入門および初級日本語能力レベルの「生活者としての外国人」
② 2015年4月に小学校へ入学するお子さんを持つ外国人市民の親
(3) 目的・目標 ① 地域に住む外国人が日本語読み書き能力の優劣に関係なく教室活動に参加、生活に役立つ日本語と生活知識を獲得するための補助教材。
② 地域の小学校に進学する子どもを持つ外国人の親の不安を取り除き、子供がスムーズに小学校生活をスタートできるように手助けする。
(4) 構成・総ページ数 78ページ
(6) 使い方 交流型対話活動における話題提出や話を広げる補助教材として使用。
(7) 具体的な活用例
2, 3人から5人ぐらいまでの小グループで日本人日本語識字ボランティアが1, 2名入り身振り・絵なども混ぜながらコミュニケーションを取る中で、地域での生活に役立つ知識やことば、表現を増やすために使う。2時間の交流活動のどの部分で使用してもいいが、最終的には教材を見て、ふり返しシートに記入を行う。
(8) 成果物の添付 データファイルで別途添付。

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的 1988 年から青丘社が運営してきた識字学級の実践に、文化庁の標準的カリ

キュラムを活用し、社会生活に必要な情報、生活課題を学ぶ新たな初期日本語識字事業を実施する。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

生活課題に即した完結型プログラムを初級学習者向けに行うのは初めての試みだった。生活が厳しい学習者が多く、定着できないので、その方法は有効だった。しかし、準備をかなり計画的にすすめないと通訳の確保を含め、実践が難しいが、参加状況は天候に左右もされる。ボランティア（共同学習）の意識は高まった。日常の取り組みにも、生活課題を積極的に入れるようになった。しかし、多言語通訳がいない時、入門学習者に何を伝えていけるかは、依然として課題である。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

今回、カリキュラム案の中で、従来の識字実践から見えてきた課題から、取り上げた。防災学習については、直近の深刻な問題のため、一番、関心が高かった。定番の日本語教材とちがい、視覚に訴え、わかりやすいものだった。ただ、入門学習者、まだ会話が全くできず、リスニングもゼロの場合、その基礎となる日本語の力がなければ、やはり日本語のみの学習には限界があり、地域の取り組みとしては課題である。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

今回、防災問題については、区役所と連携が始まり、外国人コミュニティを巻き込んだ協働事業の実施も行われた。区役所はこれを契機に毎年、実施の方向に向かっている。また、こうした成果を区民会議フォーラムで発表し、広く発信する機会も得た。

(5) 改善点、今後の課題について

事業成果でも述べたように、生活課題完結型プログラムを多言語通訳付きで行うことには、大きな意義がある。防災、在留問題等、一人では情報を得られない課題を毎年、取り上げることが重要である。一方、わかりやすい教材を準備しても、基礎日本語力がなければ、継続的に生活課題学習をすすめることには限界がある。やはり、通訳制度を含めた、多言語保障システムがセットになり、取り組む体制づくりが、予算を含め、課題である。

(6) その他参考資料